

ひかた椿小学校 学校再編準備委員会

学校跡地活用に関する検討結果

中和小学校及び萬歳小学校の跡地活用について、ひかた椿小学校学校再編準備委員会において検討した結果、下記のとおりとなった。

検討結果

中和小学校及び萬歳小学校は、地域との関わりも深く、住民の学び、スポーツ活動等の場として、地元の核となってきた施設であり、住民にとっては地域コミュニティを支える中心的な場所でもある。学校がこのような役割や機能を担ってきたという経緯を踏まえ、跡地活用に当たっては地域の意向に配慮した活用を行ってほしい。

活用案について次のとおり取りまとめたので、旭市におかれては今後の跡地活用の具体的な検討において参考としてほしい。

跡地の活用案

- ①子供たちが集まれる場（公園や児童館）
- ②農業を活かした施設（芋ほり等の農業体験、地元農産物の販売や飲食店）
- ③スポーツ施設（フットサル、テニスコート、プール、ジム）

【活用案の理由】

- ①干潟地域には子供たちが集まれるような場所がないため、公園や児童館などの子供たちが遊べる施設があれば子育て環境の充実に繋がり、若者の地域外への流出を防ぐことが期待できる。
- ②農業が盛んな地域なので、農業を活かした施設や農業体験ができる場にすれば、他地域からの来訪者を増やすことが期待できる。
- ③どのように活用をしても当初は多くの人が集まるが、徐々に減少していくことが想定される中で、スポーツ施設であれば一定の需要があるため、安定した利用が期待できる。

【跡地活用に向けての要望事項】

- ・跡地活用が決定するまでの期間の市民への貸出を検討するとともに、施設の適切な維持管理を行ってほしい。
- ・今後、他地域でも学校再編が進んでいく中で、中和小・萬歳小の跡地活用を後回しにしないでほしい。
- ・萬歳小の体育館は地域の避難所やコミュニティ施設として残してほしい。
- ・費用や維持費があまり掛からないようにしてほしい。
- ・今後の跡地活用の具体的な検討においても、地域住民等の声を聞きながら進めてほしい。